

令和7年度事務事業評価シート

事業番号	282	担当課等	総務課							
事務事業名	職員福利厚生事業									
予算科目コード	会計	1	款	2	項	1	目	1	事業開始年度	令和2年度

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2021 プラン 前 期 基 本 計 画	5 みんなでつくる自立と 協働のまちづくり	Ⅲ 社会環境の変化 に対応した行政 運営の推進	7 行政経営	(2) 人材育成の推進	①人材育成の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
									○
目 的	常勤の特別職及び一般職の職員並びに職員の親族に対しての福利厚生のため。								
対 象	職員								
内 容	「湯河原町職員の慶弔等に関する規程」による結婚祝金・弔慰金・傷病見舞金の支給及び昼食時における煎茶・調味料・洗剤等の購入。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和5年度(決算)	令和6年度(決算)		令和7年度(見込)		
	事業費		255,563	366,404	475,000			
	人件費	常勤職員	1,446,400	1,463,600	1,531,200			
		会計年度任用職員等	0	0	0			
		人件費合計	1,446,400	1,463,600	1,531,200			
	総事業費		1,701,963	1,830,004	2,006,200			
財源内訳	国庫支出金		0	0	0			
	県支出金		0	0	0			
	地方債		0	0	0			
	その他特定財源		0	0	0			
	一般財源		1,701,963	1,830,004	2,006,200			
	財源合計		1,701,963	1,830,004	2,006,200			
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和5年度	令和6年度	目標値
結婚祝金			支給者数		人	8	5	0
弔慰金			支給者数		人	10	11	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和5年度	令和6年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	職員の福利厚生を確保するため、町で実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	職員の福利厚生に資している。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	慶弔等において、職員の福利厚生につながっている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	職員に対し平等に機会が与えられている。
令和6年度までの自己評価または改善点	職員の福利厚生を維持していくため、必要最低限ではあるが円滑に実施できたと思われる。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	職員の福利厚生は、町で実施する必要がある。
令和7年度の見直し及び改善予定	特になし	
令和8年度以降の方向性	同内容で継続予定	

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	現状の福利厚生を維持し、継続していく必要があると考える。
------	----------	------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

費用について適当か検討する必要がある。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	一次評価と同様
------	----------	---------

令和7年度事務事業評価シート

事業番号	286	担当課等	総務課							
事務事業名	職員健康管理事業									
予算科目コード	会計	1	款	2	項	1	目	1	事業開始年度	令和4年度

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2021 プラン 前 期 基 本 計 画	5 みんなでつくる自立と 協働のまちづくり	Ⅲ 社会環境の変化 に対応した行政 運営の推進	7 行政経営	(2) 人材育成の推進	①人材育成の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
			○						
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	職員の安全と健康を確保するため、職員が生き生きと職務を遂行できる快適な職場環境を作るため。								
対 象	職員								
内 容	一般及び現業職員の健康診断、インフルエンザ等の予防接種、ストレスチェックの実施。また、産業医による職員の健康管理に対する適切な指導。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和5年度(決算)	令和6年度(決算)		令和7年度(見込)		
	事業費		6,768,642	6,996,900		8,282,000		
	人件費	常勤職員	1,446,400	1,463,600		1,531,200		
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	1,446,400	1,463,600		1,531,200		
	総事業費		8,215,042	8,460,500		9,813,200		
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		8,215,042	8,460,500		9,813,200		
	財源合計		8,215,042	8,460,500		9,813,200		
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和5年度	令和6年度	目標値
健康診断(一般・現業)			受診者数		人(延	335	372	364
予防接種			受診者数		人(延	336	402	361
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和5年度	令和6年度	目標値
人間ドック助成			受診者数		人(延	141	129	114
ストレスチェック			受診者数		人(延	314	325	316

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	職員の安全と健康を確保するため、町で実施する必要性がある。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	職員の安全衛生に資している。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	健康診断等において、職員の健康管理に繋がっている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	誰もが受けることができる。
令和6年度までの 自己評価または 改 善 点	事業そのものは円滑に実施できており、職員が事務を行う環境は整え続けている。 職場環境や離職防止も含め、職員のウェルビーイングに資することができるよう今後も継続していきたい。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理 導入の可能性	9	産業医、健康診断、予防接種、ストレスチェックで委託実施済み。
令和7年度の見直し 及び改善予定	特になし	
令和8年度以降の 方向性	同内容で継続予定	

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	法定業務であり廃止できるものではない。
---------	----------	---------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

職員の健康管理を維持するためには必要である。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和7年度事務事業評価シート

事業番号	696		担当課等		総務課					
事務事業名	職員研修事業									
予算科目コード	会計	1	款	2	項	1	目	7	事業開始年度	令和2年度

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2021 プラン 前 期 基 本 計 画	5 みんなでつくる自立と 協働のまちづくり	Ⅲ 社会環境の変化 に対応した行政 運営の推進	7 行政経営	(2) 人材育成の推進	①人材育成の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○	○				
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	職員の資質向上と能力開発を図り、複雑化する行政需要に対応し、効果的・効率的な行政運営を行うため。								
対 象	職員								
内 容	市町村研修センター、県西部広域行政協議会等が開催する研修に参加するための研修旅費、研修負担金及び庁内研修を開催するにあたっての講師謝礼。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和5年度(決算)		令和6年度(決算)		令和7年度(見込)	
	事業費					
コスト	人件費	常勤職員	1,446,400	1,463,600	1,531,200	
		会計年度任用職員等				
		人件費合計	1,446,400	1,463,600	1,531,200	
		総事業費	2,178,814	2,464,266	3,681,200	
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	2,178,814	2,464,266	3,681,200		
	財源合計	2,178,814	2,464,266	3,681,200		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
派遣研修開催数		職員の資質・能力向上	回	23	51	19
庁内研修開催数		職員の資質・能力向上	回	4	8	6
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
派遣研修受講者数		職員の資質・能力向上	人(延	81	140	73
庁内研修受講者数		職員の資質・能力向上	人(延	186	300	157

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	職員の資質向上と能力開発を促進し、効果的・効率的な行政運営を担うために町で実施する必要がある。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	効率的な行政運営につながっている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	効率的な行政運営につながっている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	誰でも参加することができる。
令和6年度までの自己評価または改善点	本年度は庁内研修に力を入れ、前年度よりもはるかに上回る研修の受講者数となった。研修計画を定め、研修を受けていない世代に対し、適切に研修を受講させていく必要がある。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	2	派遣研修はほとんどが旅費の負担のみとなっているため、コスト面では委託するメリットはないが、職員の資質向上と定着は急務のため、委託を含めた手法は検討すべきである。
令和7年度の見直し及び改善予定	庁内研修の充実をより図っていくことで、すべての職員が適切な研修を受講できるような体制を整える。	
令和8年度以降の方向性	今後についても、派遣研修と庁内研修のバランスを検討するとともに、現在の職員に対して必要な資質と能力を見極めながら研修計画を策定し実行していく。	

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	事業自体は現状を維持し継続していきたい。研修計画を定め、幅広い世代の職員に対し、認識や知識の偏りがでないよう適切に研修を受講させていく方向性である。
---------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

必要な職員に必要な研修を受講させているか効果を含め検証する必要がある。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和7年度事務事業評価シート

令和7年9月25日

事業番号	13916	担当課等	総務課							
事務事業名	庁舎のあり方検討調査事業									
予算科目コード	会計	1	款	2	項	1	目	1	事業開始年度	令和6年度

1 事業概要(令和6年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2021 プラン 前 期 基 本 計 画	5 みんなでつくる自立と 協働のまちづくり	Ⅲ 社会環境の変化 に対応した行政 運営の推進	8 財政運営	(2) 効果的な財政運 営					
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
									○
目 的	役場庁舎の老朽化が進行しているため、今後の庁舎整備の方向性等について検討するもの。								
対 象	町民及び来庁者								
内 容	町民へのアンケート実施をし、庁舎整備の必要性を整理するとともに、現地立替えやリノベーション、他施設への移転等、庁舎整備の方向性について新庁舎整備検討委員会を設置し検討した。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(見込)	
	事業費		0	3,025,722	0	
	人件費	常勤職員				
		会計年度任用職員等				
		人件費合計	0	0	0	
	総事業費		0	3,025,722	0	
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		0	3,025,722	0	
	財源合計		0	3,025,722	0	
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
アンケート説明会		説明会回数	回	0	1	10
新庁舎整備検討委員会		開催数	回	0	1	1
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和5年度	令和6年度	目標値
アンケート結果報告書		成果物(報告書)	式	0	1	2
業務報告書		成果物(報告書)	式	0	1	1

3 令和6年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	4	今後の方向性について検討するため、庁舎の再整備に向けて検討していく。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	類似の事業はない。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	庁舎のあり方を検討するために、成果物の資料は有用である。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	町民等に関係する事業となっている。
令和6年度までの自己評価または改善点		町民アンケートを実施したことで、今後、庁舎の再整備に向けて検討するために必要な情報を得ることができた。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	1	庁舎のあり方を検討していく上で、専門のコンサル等への委託を実施していく。
令和7年度の見直し及び改善予定	新庁舎基本構想の策定をコンサルに委託していく。	
令和8年度以降の方向性	令和8年度に策定予定の新庁舎基本構想を基に、町民の理解を得ながら庁舎のあり方について検討を進めていく。	

5 一次評価(令和8年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(拡大)	町民アンケート及び報告会を実施したことで得られた町民の意見は、有用であった。今後は、具体化していくため、基本構想の策定を進めていく必要がある。
---------	--------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

庁舎は、住民生活に大きな影響があると考えられるため、慎重に計画を進めていく必要がある。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(拡大)	一次評価と同様
---------	--------	---------